

令和3年度 北区立ふくろ幼稚園経営計画

園長 篠澤 恵理

1 目指す幼稚園

- 心豊かな遊びと生活を通した、主体性や社会性を培う幼稚園
- 家庭・地域と心を通わせながら共に歩み、温かな人のきずなを感じる幼稚園
- 幼児・保護者・教職員一人一人が自分のよさを生かし、育ち合える幼稚園

教育目標「げんきな子ども やさしい子ども がんばる子ども」	
げんき	○心と体を動かす楽しさを感じ、意欲的に遊ぶ子ども ・伸び伸びと力一杯に体を動かして遊ぶ子ども ・興味・関心を高め、自分から行動する子ども ・生活リズムが整い、心身共に健康な子ども
やさしい	○互いのよさに気付き、認め合う子ども ・人の話を聞き、自分の思いを表せる子ども ・相手のことを思いやり、丁寧な言動をする子ども ・人への信頼感をもち、助け合う子ども
がんばる	○主体的にたくましく行動する子ども ・意欲や思いをもって取り組む子ども ・気付き・考え・行動し、工夫する子ども ・諦めないで、粘り強く取り組む子ども

2 中期的目標と方策（3年計画3年目）

（1）幼児の見方・考え方を広げる豊かな体験を積み重ねた教育内容の推進

- ・幼児同士が互いに関心を向けられるように、思いや考えを伝え合う機会を積極的に作り、自他の違いを受け止めて学びを深める力を育てる。
- ・集団遊びや未就園児との交流などを通して豊かな感情を体験し、思いやりの心や人と関わる力を育む教育内容を工夫する。

（2）保護者の思いに寄り添い、家庭の教育力向上を支える子育て支援の充実

- ・預かり保育を実施し、子育てにゆとりをもてる機会を提供するとともに、参加型参観日等の体験活動を取り入れ、幼児期の教育についての理解を深められるようにする。
- ・幼児が遊びの中から学んでいる内容を明らかにし、幼児期に必要な経験内容や親子の関わりについての情報を共有する。

（3）近隣小・中学校や保育園との連携体制の確立と、学びの連続性を踏まえた指導力の向上

- ・小・中学校や保育園との心の通い合う連携を通して教育内容の相互理解に努め、発達のつながりを意識した指導の充実を図る。

（4）教員の働き方についての意識改革と、計画的・効率的な職務遂行の実現

- ・業務内容や進捗状況の早期把握等、さらなる時間短縮に努め、組織力を生かした職務遂行の定着を図る。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

①夢中になって遊ぶ幼児の育成と指導力の向上

- ・ 幼児がやり遂げた満足感や達成感を得られるように、自分のやりたいことを持続して遊べる環境を整え、個々の発達や特性に応じて援助する。
- ・ 幼児の行動の意味を深く考えて共有する園内研究を日常的に実施し、全職員の協力体制を強化する。

②豊かな心情や感性の育成

- ・ 四季折々の野菜栽培や身近な生き物に触れる飼育活動などを計画し、様々な直接的・具体的体験を通して命の尊さ、美しさ、不思議、驚き、喜びなどの感動を味わえる状況をつくる。
- ・ 幼児が人や物との対話を通して考えたり表現したりすることを楽しめるように、互いの情報が行き交う環境を工夫する。

③保護者間の連携を深め、家庭の教育力向上を支える子育て支援の充実

- ・ 園庭開放や月2回程度の保育ボランティアなどを実施する中で、幼児理解や保護者同士の学び合いを促し、親子の絆を感じられるようにする。
- ・ 野菜栽培や行事の準備など、保護者の力を発揮できる機会を月1回程度提供し、子どもと共に過ごす生活を楽しめるようにする。

(2) 重点目標と方策

①一人一人のよさを生かし、多様性を尊重した教育内容を推進する。

- ・ 幼児が自分で考えて行動する楽しさを感じられるように、考えを深めていく過程を幼児同士が見合えるような状況づくりを心掛け、互いの思いを受け止め認め合う関係を築く。
- ・ 未就園児や近隣学校等、様々な人と関わる体験を重視し、思いやりの心やコミュニケーション能力を育成する。

②遊びの充実を図り、思考力の芽生えや豊かな表現力を育成する。

- ・ ルールのある運動遊びや相談しながら進める活動などを日々の生活に取り入れ、判断力や協調性を育む。
- ・ 造形遊び等の表現活動が活発に行われるようにアトリエを常設し、幼児が考えたり試したり工夫したりできる環境構成の充実を図る。
- ・ 幼児が本に親しめるよう、身近に手に取れる図書環境を整え、知的好奇心を育む。

③学びが見える機会を提供し、家庭との情報共有に努める。

- ・ 写真等による保育記録（ポートフォリオ）を月1回程度作成して幼児の成長を可視化し、幼児に必要な経験と育ちについて保護者と共有する。
- ・ 月2回以上のホームページの更新や、年10回程度の園長だよりの発行などを通して情報発信に努め、保護者が子育ての楽しさを実感できるようにする。

④教員の計画的・効率的な職務遂行の定着と、定時退勤の推進

- ・ 業務内容の進捗状況を朝会で確認し、組織力を生かした職務遂行を行う。
- ・ 早期立案により役割分担を具体化して、在園時間短縮（概ね10時間台）を目指す。